

2018年度事業報告

特定非営利活動法人グリーンコンシューマー大阪ネットワーク

I 事業期間

2018年1月1日～2018年12月31日

II 事業の成果

(1) 大阪における循環型社会の具体化

廃棄物、特に処理困難な産業廃棄物の適正処理と再資源化がどこまで進んでいるかの現場の見学会を2回開催し、その情報の発信をした。

協働の成果としては、大阪のごみ減量推進会議での役割として、各自治体における「ごみ減量推進委員」への連続セミナーの継続や自治体担当者の意見交換会等の実施に関わった。

2006年からの7年間実践した「学校紙ごみもったいないやんかプロジェクト」の活動から、大阪ごみ減量推進会議を結成して市民、企業、専門機関、行政の協働の取り組みに拡大し、大阪市における家庭系・事業系すべての古紙の焼却工場搬入禁止（2014年10月～）、大阪市における地域における資源物回収、コミュニティ回収へと定着していった。

廃棄プラスチックごみが国際的に海洋汚染と生物への危機として大きくクローズアップされ規制された2018年だった。当会は、2002年、プラスチックごみの増加の課題として、大阪府下におけるスーパーなど流通店でのレジ袋や商品の包装状況などの実態調査をし、レジ袋削減や商品の裸売りを実践している店舗を紹介した「グリーンコンシューマーのための買い物ガイド大阪版」を発行し啓発に努めた。

「天神祭りごみゼロ大作戦2018」にも積極的にに関わり、露天が立ち並ぶ大川沿い全域において、38ヶ所のエコステーションとリユース食器の返却拠点をボランティア約1500名で運営した。ごみの分別により資源化は2017年より4倍に（1.5トン→6.5トン）とごみの元を断つリユース食器の回収率は昨年の75%から92%にアップした。結果、廃棄物は

昨年比 13.8 トン・22.5%が減量された。また、参加ボランティアの 72%が次年度の参加を希望するなどの成果を上げ次年度につなげることができた。

(2) くるくる笑ミッション事業

資源循環と東北の高齢女性たちの仕事支援としての「くるくる笑ミッション」事業は、大きな転換期となった。寄付をいただいた着物の新たな活用とそれを通じて被災地とのつながりの継続の試行錯誤の年となった。大阪では、防災、減災時のコミュニティの大切さなどの発信と繋がり活動として、2011 年第 1 回から被災障がい者支援「ゆめ風基金」による「東北⇄関西⇄九州 生活ポジティブアクション」への継続した出展、ボランティアと地域の繋がりとしてからほり商店街における「ボラから市」への出展も 3 回目となった。

(3) 情報発信など

多様な働き方、家族形態やコミュニティの希薄さが進む中で、一人一人が生活習慣、消費行動が環境を良くすることにつながることの気づきの発信は、ニュースやホームページ、環境イベントで実践した。

地球温暖化の加速をストップするためには、より共感の輪を拡げ市民自らが消費行動を変える気づきの発信が重要である。そのために、資源循環型各活動団体とのより連携した情報発信手法など、引き続き検討していく。

III 事業の実施状況（特定非営利活動に係る事業）

ECO ツアーの取り組み

困難な廃棄物・水銀の資源循環の現場を見る

[実施日時] 8 月 28 日

[実施場所] 野村興産（株）関西工場（大阪市西淀川区中島）

[内 容] 使用済み蛍光灯の中間処理（破碎・選別・洗浄）をし、水銀ダクトや洗浄スラッジは、最終処理工場の北海道イトカム鉱業所に搬送され再資源化。乾電池も実施。蛍光管の受託自治体は 857 ヶ所、乾電池は 903 ヶ所（2017 年 4 月実勢）、年々増加している。

[参加者] 16名

我が国最大級の産業廃棄物不法投棄「豊島事件」の現場を知る

[実施日時] 10月2, 3日

[実施場所] 香川県豊島内施設（香川県豊島香川県小豆郡土庄町）、資料館、直島

[内 容] 豊島事件の解決に向け奔走した住民会議の石井事務局長のガイドにより、概略説明の後、不法投棄現場を視察。現在は、完全な再分別をして焼却ごみと熔融ごみとに分け、残渣は無害化されたものは豊島の施設内に保管、有害物は建屋内での保管と厳密な処理が県の監視下のもと直島で処理された。資料館では、1975年から始まった「事件」に立ち向かった584名の約2/3は今は亡き方として黒いリボンが記されていた。苦難の末に勝ち取った調停、和解金でこの資料館の運営がされ、島の再生を願う「オリーブ基金」により、豊島でもオリーブが栽培され島の産業を支える一つとなっている。直島の芸術の島の世界発信の先進事例に続き、豊島での美術館があり3年に一度開催される瀬戸内国際芸術祭の会場へと再生の道の道半ばを現地で体感。

[参加者] 8名

※ECO もんツアーとして、大阪ごみ減量会議、大阪府民環境会議、環境情報ピコとの共催。

(2) くるくる笑ミッション事業

① ボラから出会市

日時 5月13日(日)

場所 からほり商店街

内容 東北被災地高齢者手作り品の販売と裂き織体験、有機コーヒーの販売

② 被災障がい者支援 東北⇔関西⇔九州 生活ポジティブ生活アクション

日時 11月23日(祝)

場所 長居公園自由広場

内容 東北被災地女性の作品、防災ズキン等の販売と有機栽培コーヒーの販売、ゲー

ム等

(3) [協働事業名] 大阪ごみ減量推進会議によるごみ減量にむけた取り組み

[内 容] 連続セミナー、各市要請の出前講座、ごみ減量を地域で取り組む具体的な協議を積み重ねた。

セミナー：5回（開催場所 大阪産業大学梅田サテライトキャンパス）

出前講座：2回（長岡京市、西脇市、滋賀県日野町）

相談：1回（浪速区民祭りにおけるエコステーションについて）

会議：幹事会 3回 事業部会・3回 大阪市・NPO・事業者との意見交換会 1回 研究会 1回

(4) [協働事業名] 天神祭のごみゼロ大作戦

[内 容]大川沿い全域における38ヶ所のエコステーション・リユース食器回収拠点をボランティアで運営。ごみ減量率が前年比22.5%13.8トン減量された。資源物としての回収は、昨年は缶のみから、ビン、ペットボトル、段ボールの4品目となった。実行にあたって資源物の回収事業者、露天の組合、廃棄物回収事業団体・事業者等の調整を担当した。

日時 7月24～25日

場所 天神祭 大川沿い全域（南天満、桜の宮、毛馬桜の宮の3公園）

【大阪環境ネットイベント～つながる環境～】

日時 2月12日（祝）

場所 ヤマダ電気イベント会場

出展 旬の野菜あてクイズ等

その他、出前講座での裂き織体験講座の実施も行った。

(5) その他の事業

環境NGOの中間支援組織として設立されたNPO法人大阪府民環境会議に団体加盟し、その運営の一端を担った。

グリコンニュースを会員に2回発行した。

IV 総会の開催状況

2018年度総会

[日時] 2018年3月11日(日) 11時から11時15分まで

[場所] エルシアター ロビー

[内容] 第1号議案 2017年度活動報告の件 審議の結果、可決承認

第2号議案 2017年度会計・監査報告の件 審議の結果、可決承認

V 理事会その他の役員会の開催状況

第1回理事会 2018年2月9日

(内容) 第1号議案 新年度の事業の件

審議の結果、上記の議案は承認された。

第2回理事会 2018年4月11日

(内容) 第1号議案 再生エネルギー、くるくる笑ミッション、ECO ツアーの件

審議の結果、上記の議案は承認された。

第3回理事会 2018年5月23日

(内容) 第1号議案 ECO ツアー企画案①豊島、②廃棄水銀処理工場見学、くるくる笑
ミッション事業の件

審議の結果、上記の議案は承認された。

第4回理事会 2018年6月25日

(内容) 第1号議案 ECO ツアー①産業廃棄物の完全分別再処理の豊島、野村興産(株)
関西工場見学の件、天神祭りごみゼロ大作戦の件

審議の結果、上記の議案は承認された。

第5回理事会 2018年9月10日

(内容) 第1号議案 豊島見学、11, 23 東北⇔九州⇔関西 ポジティブ生活アクション

の件

審議の結果、上記の議案は承認された。

第6回理事会 2018年11月7日

(内容) 第1号議案 事務所移転と運営の件、

審議の結果、上記の議案は承認された。

VI 2018年度役員

代表理事 山口百合子

副代表理事 土肥 将嗣

理事 坂本茂代

理事 末田一秀

理事 橋本紀子

理事 阪本 守

理事 松本 繁

監事 大林 テル